

# 1. 平成28年度以降入学者用

## 総合人間学部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

総合人間学部では、多様な学問分野の教員が数多くの全学共通科目を担当しており、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供しています。このため、外国語科目群を除いて、修得すべき全学共通科目の単位数を定めていません。多くの全学共通科目が、総合人間学部の主専攻科目または副専攻科目として指定されています。詳細は、総合人間学部便覧を参照してください。

人文・社会科学科目群		※詳細は総合人間学部便覧を参照してください。
自然科学科目群		「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。
情報学科目群		「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。
健康・スポーツ科目群		「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること（※一部認められない科目もあります。詳細は総合人間学部便覧を参照してください）。
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
外国語科目群	24 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。 ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること 3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。 2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。

E 科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
------	---

### 2. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

### 3. 指示事項

(1) 総合人間学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。

#### (2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語12単位、フランス語6単位、英語6単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

#### (3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔実習・演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
実習・演習科目	情報基礎演習 [全学向]	

- (4) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成28年度入学者のみ該当)

## 文学部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	8 単位以上	英語を選択する場合： 44 単位以上  英語を選択しない場合： 36 単位以上	人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から E1・E3 に指定されている科目を除き、計 36 単位以上修得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1 に指定されている科目を除き計 8 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。  外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要件に加えて「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、その他の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上修得し、計 44 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上		
情報科学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上  英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。  英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。  英語以外の外国語を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。
合計	68 単位以上		

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

#### (1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を履修する場合、「外国文献研究（文・英）A・B-E1」（いずれも 2 回生以上対象科目）は各 1 科目計 4 単位が卒業に必要な単位として認定され、原則として自身の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に分属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。
- ② 「日本史 I・II」、「中国歴史風土論」（H29 年度不開講）、「中国歴史地理論」（H29 年度不開講）、「西洋史 I・II」、「人文地理学各論 I～III」、「地域地理学各論 I～III」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学科目群に変更することができます（本冊子「V. その他 1. 系列変更」（p.242）参照）。

#### (2) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科

目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

- ② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得しなければなりません。「フランス語 I (8H コース)」は、16 単位のうち 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」、「ドイツ語 II (6H コース)」、「フランス語 II (6H コース)」は、12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

なお、スペイン語 I (会話) は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

(3) E 科目について

外国語科目群で英語を選択しない場合、E1・E3 に指定されている科目を履修しても卒業に必要な単位としては認定しません。

## 教育学部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 18 単位以上  英語を選択しない場合： 14 単位以上	英語を選択する場合： 48 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上	英語を選択しない場合： 40 単位以上	外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上  英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。その場合、英語を除く 1 か国語 16 単位のうちの 8 単位として読み替えることができる。  英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。  英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。
合計		72 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

(1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。

「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」

(2) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2回生以上対象科目）各2単位計4単位を修得しなければなりません。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

## 法 学 部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群及び 法学部基礎演習【学部教養 科目】	24 単位以上	「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。
自然科学科目群 統合科学科目群	6 単位以上	
外国語科目群	24 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 16 単位以上、計 24 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位まで	
健康・スポーツ科目群	6 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	64 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	------------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 法学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 人文・社会科学科目群について
  - ① 法学部基礎演習は、法学部が法学部 1 回生に提供する教養科目です（後期に開講、2 単位）。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学科目群の科目と同じに扱われます。
  - ② 「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- (3) 外国語科目群について
 

「フランス語Ⅰ（8H コース）」は 16 単位のうち 12 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

## 経済学部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 14 単位以上  英語を選択しない場合： 10 単位以上	英語を選択する場合： 32 単位以上 (左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計ではない。右記に従うこと)	英語を選択する場合： 各科目群が要求する最少の単位数の合計 28 単位に加えて、外国語科目群を除く任意の科目群から 4 単位以上を修得すること。人文・社会科学科目群においては「外国文献研究(経・英) A・B-E1」計 4 単位を含むこと。かつ、「外国文献研究(経・英) A・B」以外の任意の科目群の E 科目 4 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究(経・英) A・B-E1」は計 4 単位を超えて修得することはできない。 (E 科目については下欄の表を確認すること)
自然科学科目群	8 単位以上	英語を選択しない場合： 24 単位以上 (左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計である)	
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上  英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 2 か国語を履修すること。 ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語(日本語を除く)を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語を選択する場合、日本語上級、「経済・経営日本語(上級) I・II」から計 16 単位を修得すること。
合計		56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究(経・英) A・B-E1」から 4 単位、それ以外の E 科目(科目群、E 科目のカテゴリーは問わない)から 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 各群における指示事項

#### (1) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群において英語を選択しない場合でも「外国文献研究(経・英) A・B-E1」(2 回生以上対象科目)は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

#### (2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記 a. の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学の講義 b. を履修することを強く推薦します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

a. 数学基礎(経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す)



「数学基礎 A・B (8 単位)」を履修してください。

b. 理系用数学講義 (理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「微分積分学 (講義・演義) A・B (6 単位)」、「線形代数学 (講義・演義) A・B (6 単位)」を履修してください。なお、これらの科目は、特別履修の手続き (p.41 参照) が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。

上記 b. を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II (4 単位)」、「線形代数学統論 (2 単位)」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② 「フランス語 I (8H コース)」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」「ドイツ語 II (6H コース)」「フランス語 II (6H コース)」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。
- ③ 「スペイン語 I (会話)」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

(4) E 科目について

- ① 外国語科目群において英語を選択するか否かにかかわらず、「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」は 4 単位を超えて修得することはできません。他学部生も同様です。
- ② 「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」は重複履修が認められます。例えば「外国文献研究 (経・英) A-E1」を 4 単位修得した場合、4 単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。
- ③ E 科目を修得すると、その E 科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがって E 科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。また、そのため、E 科目を 8 単位以上修得しながら、各科目群の要求する単位数を最少単位数で満たした場合、先の表に述べられている通り、7 科目群で計 32 単位以上という要件を満たさないことに注意してください。

例 人文・社会科学科目群から、E 科目「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」を 4 単位、その他 E 科目を 4 単位修得しながら (E 科目計 8 単位)、人文・社会科学科目群の単位数を最少単位数の 14 単位で満たし、かつ、他の 6 科目群の要求する単位数を最少単位数で満たしても、これらの合計単位数は 28 単位に過ぎません。

この場合、さらに任意の科目を 7 科目群の中から 4 単位以上修得する必要があります。

## 理 学 部

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から3 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。</li> <li>・E 科目は4 単位まで卒業に必要な単位として認める。</li> <li>・平成 28 年度入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な 3 つ以上の異なる分野の1 つとしても、卒業に必要な単位としても認めない。</li> <li>・平成 29 年度以降入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な 3 つ以上の異なる分野の 1 つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。</li> </ul>
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 8 単位以上 12 単位まで。計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 ただし、日本語は外国人留学生のみ卒業に必要な単位として認める。
情報学科目群	0 単位以上 4 単位まで	専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群	0 単位以上 4 単位まで	
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで	理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上	専門科目 54 単位以上（卒業研究科目 1 科目を含む）を含めて、卒業要件は 138 単位以上。

E 科目	上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位及び E 科目の単位として認定される。上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。
------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

平成 29 年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2017（平成 29）年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

## 医学部 <医学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	18 単位以上	46 単位以上	うち 2 単位は情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群の科目で代替可能。 必修科目 14 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上、計 20 単位以上修得すること。 【下記 3. 指示事項(1)自然科学科目群について 参照】
自然科学科目群	20 単位以上		
健康・スポーツ科目群	2 単位以上		
キャリア形成科目群	2 単位以上		
情報学科目群			
統合科学科目群			
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語またはフランス語から 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。	
合計	62 単位以上		上記の各科目群の必要単位数を満たし、下記 E 科目欄の指示に従って E 科目を計 4 単位以上含んで、計 62 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	E 科目の選択必修科目 2 単位以上を含む計 4 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。 なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。 ・ Introduction to Biochemistry-E2(自然科学科目群の必修科目) ・ Introductory Statistics-E2(自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目) ・ Introduction to Molecular Biotechnology-E2(自然科学科目群選択必修科目) ・ Principles of Genetics-E2(自然科学科目群選択必修科目) ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3 (キャリア形成科目群必修科目) 【下記 3. 指示事項(4)E 科目について 参照】
------	----------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

#### (1) 自然科学科目群について

① 「Ⅱ. 2. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)において対象学生が「文系向」となっている科目、及び「数学」「物理学」「化学」「生物学」分野以外の科目については、医学部医学科では自然科学科目群として認められませんので、注意してください。

#### ② 必修科目

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1 回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時は医学部医学科より別途指定
物理学基礎論 A	2	1 回生クラス指定科目
物理学基礎論 B	2	1 回生クラス指定科目
基礎有機化学 I	2	1 回生クラス指定科目

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めない。

③ 選択必修科目

下記、講義科目より2単位以上、実験・実習科目より2単位以上、合計4単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	

	科目名	単位数	備考
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

④ 「数学」分野の科目から2単位以上修得しなければなりません。

医学のあらゆる領域で数学の必要性が高いため「微分積分学（講義・演義）A」「線形代数学（講義・演義）A」の履修を推奨します。

(2) 外国語科目群について

初修外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。

✧ ドイツ語を選択する場合

「ドイツ語 IA（文法）・IB（文法）」と「ドイツ語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計8単位以上。

✧ フランス語を選択する場合

「フランス語 IA（文法）・IB（文法）」と「フランス語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計8単位以上。

(3) キャリア形成科目群について

必修科目「臨床コミュニケーション（医・英）-E3」（2回生以上対象科目）2単位を含む計2単位以上修得してください。

(4) E科目について

下記選択必修科目より2単位以上を含み、E科目から計4単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	
ILAS Seminar-E2 : Health Research Methodology -Introduction to Socio-epidemiology (ヘルスリサーチの方法論-社会疫学入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Testingより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Developmental Biology and iPS Cells (発生生物学とiPS細胞入門)	2	ILAS Seminar-E2 : Introduction to Developmental Biology and iPSより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	ILAS Seminar-E2 : Presentation and debate on biomedical scienceより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Life in 3D and 4D (生命)	2	

アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	
Fundamentals of Neuroscience-E2	2	
Introduction to Human Physiology-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	
Nutrition and Health-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	2回生以上の履修推奨※
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills for Life Sciences (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

医 学 部 <人間健康科学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【平成 29 年度入学者】

人文・社会科学科目群	10 単位以上	8 単位以上※	履修することが望ましい科目は下表を参照。 英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リーディング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。	
自然科学科目群	10 単位以上			
外国語科目群	16 単位以上			
情報学科目群	10 単位以上			履修することが望ましい科目は下表を参照。
健康・スポーツ科目群				履修することが望ましい科目は下表を参照。
キャリア形成科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
合計	54 単位以上			

※各科目群の必要単位数を満たしたうえで、8 科目群より自由選択で 8 単位以上修得すること。

（総合医療科学コースでは、うち 8 単位を自然科学科目群から選択すること。）

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。 うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むこと。
------	-------------------------	---

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	○	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	○	同 上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同 上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同 上
物理学基礎論 A	2	○	同 上
物理学基礎論 B	2	○	同 上
物理学実験	2	○※	同 上
基礎化学実験	2	○※	同 上
基礎有機化学 I	2	○	同 上
細胞と分子の基礎生物学	2	◎	同 上
統計入門	2	○	同 上
情報基礎演習	2	◎	情報学科目群
情報基礎	2	◎	同 上
スポーツ実習 I A または I B	1	○	健康・スポーツ科目群
健康・生命科学入門	2	◎	同 上
「薬の世界」入門	2	○	同 上
リハビリテーション概論	2	○	同 上

◎：履修することを強く推奨する科目      ○：履修することが望ましい科目

※総合医療科学コースでは選択必修（総合医療科学コースでは物理学実験または基礎化学実験のどちらかの単位を修得することが卒業要件となっているため、同コースを選択する可能性がある場合には履修し、単位を修得すること）

【平成 28 年度入学者】

(1) 看護学専攻

人文・社会科学科目群	14 単位以上	4 単位以上※	
自然科学科目群	10 単位以上		
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群	10 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—	選択（卒業に必要な単位には算入されない）	
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 4 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	
------	-------------------------	--

(2) 検査技術科学専攻

人文・社会科学科目群	10 単位以上	10 単位以上 ※	
自然科学科目群	18 単位以上		選択必修科目及び特に履修を推奨する科目は下表を参照。
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—	選択（卒業に必要な単位には算入されない）	
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 10 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	
------	-------------------------	--

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	◎	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	◎	同上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同上
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	同上
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同上
基礎化学実験	2	選必	同上
物理学実験	2	選必	同上
統計入門	2	◎	同上

情報基礎演習	2	○	情報学科目群
情報基礎	2	○	同上

◎：選択履修することが強く望まれる科目 ○：選択履修することが望まれる科目

選必：選択必修科目（どちらかの修得が卒業要件。両方の履修が望ましい。）

### (3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻

人文・社会科学科目群	6 単位以上	14 単位以上 ※	
自然科学科目群	12 単位以上		特に履修を推奨する科目は下表を参照。
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—	選択（卒業に必要な単位には算入されない）	
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 14 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと
------	-------------------------

科目名	単位数	選択履修区分	群
統計入門	2	○（理学のみ）	同上

○：選択履修することが望まれる科目

## 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

## 3. 指示事項

### (1) 健康・スポーツ科目群について

平成 28 年度まで学部専門科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成 29 年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。

### (2) 少人数教育科目群について

平成 28 年度入学者について、少人数教育科目群の科目は、選択科目としますが、卒業に必要な単位としては認定しません。

### (3) 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目は、人文・社会科学科目群のみ卒業に必要な単位として認定します。（平成 28 年度入学者のみ該当）

### (4) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群の科目を卒業に必要な単位として認定します。



## 薬学部 <各学科共通>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	
自然科学科目群	32 単位以上	必修科目 10 単位、選択必修科目および選択科目 22 単位以上（選択必修科目 12 単位以上を含む）、計 32 単位以上修得すること。
情報学科目群		
健康・スポーツ科目群		
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
キャリア形成科目群	6 単位以上	キャリア形成科目群の必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）を含め計 6 単位以上修得すること。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
合計	64 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群について  
必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学（熱力学）	2	薬学部提供科目（自然科学科目群）
	基礎有機化学Ⅰ	2	同上（同上）
	基礎有機化学Ⅱ	2	同上（同上）
	「薬の世界」入門	2	同上（健康・スポーツ科目群）
	健康・生命科学入門	2	同上（同上）
選択必修科目	微分積分学（講義・演義）A	3	（自然科学科目群）
	微分積分学（講義・演義）B	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）A	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）B	3	（同上）
	物理学基礎論 A	2	（同上）
	物理学基礎論 B	2	（同上）
	熱力学	2	（同上）
	物理学実験	2	（同上）
	基礎化学実験	2	（同上）
	生物学実習Ⅲ	2	（同上）
	統計入門	2	（同上）
	薬用植物学	2	薬学部提供科目（健康・スポーツ科目群）
	情報基礎〔薬学部〕	2	同上（情報学科目群）
	情報基礎演習〔薬学部〕	2	同上（同上）
選択科目	上記以外の科目		

- (2) 自然科学科目群の「基礎化学実験」、「統計入門」（2 回生配当）は履修することが望ましい。

- (3) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群の選択必修科目の卒業必要単位数 12 単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。
- (4) キャリア形成科目群について  
薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

## 工 学 部 <地球工学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

#### 【土木工学コース、資源工学コース、環境工学コース】

【平成 29 年度入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ」実習分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目からは 2 単位まで含むことを認める。人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めることを強く推奨する。
------	-----------------------	--

【平成 28 年度入学者】

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	「外国文献研究（全・英）-E1」を 2 単位以上、計 4 単位まで含むこと。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。ただし、「外国文献研究（全・英）」から 2 単位以上含むこと。
------	-------------------------	---

### 【国際コース】

英語で提供される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。ただし、「スポーツ実習」分野の科目、日本人学生が履修する初修外国語科目を除く。

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	「外国文献研究」分野の E1 科目を除く。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	18 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「Scientific English I A・I B」各 4 単位計 8 単位を修得すること）、 英語以外の外国語（初修外国語）から 10 単位以上、計 18 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 日本語を母国語とする学生は、初修外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語から 10 単位以上修得すること。 日本語を母国語としない学生は、初修外国語として日本語から 10 単位以上修得すること。ただし、日本語を母国語としない学生で日本語能力試験の N1 を保持する者に限り、初修外国語 10 単位のうち、母国語以外から 6 単位までドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の履修を認める。
情報学科目群	4 単位まで	「Basic Informatics」及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位以上 8 単位まで	「Scientific English II -E3」（4 単位）および「Advanced Scientific English-E3」（4 単位）から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目「Scientific English II -E3」（4 単位）および「Advanced Scientific English-E3」（4 単位）から 4 単位以上含めなければならない。
------	-------------------------	--

## 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

## 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

## 工 学 部 <建築学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	・E1 科目以外で 14 単位を修得すること。このとき、三つ以上の分野からそれぞれ 2 単位以上修得することが望ましい。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」の E1 科目を 2 単位以上修得すること。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科科目群	4 単位以上 8 単位まで	計 4 単位以上修得すること。「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」計 4 単位を修得することが望ましい。
健康・スポーツ科目群 「健康・スポーツ科学」分野		
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野		
統合科学科目群		「統合科学」分野及び「環境」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群 「スポーツ実習」分野	平成 28 年度入学者： 4 単位まで、 平成 29 年度入学者： 2 単位まで	
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野	4 単位まで	ただし、E3 科目から 2 単位まで、E3 科目以外から 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	66 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	1)~3)のいずれかの組み合わせで修得すること。 1) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位以上。 2) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 2 単位以上と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位。 3) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 2 単位以上と、人文・社会科学科目群の E2 科目のうち別に指定する科目 (別途掲示により指定) から 2 単位以上。
------	-------------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。

- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、1 科目 2 単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ対象)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

## 工 学 部 <物理工学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野、「国際コミュニケーション」分野(E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野(E3 科目)		
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、人文・社会科学科目群 (6 単位まで) 及び自然科学科目群 (4 単位まで) のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

- (4) 情報学科目群と学部科目を合わせて 57 単位以上修得する必要があります。また、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群と学部科目を合わせて 98 単位修得する必要があります。



## 工 学 部 <電気電子工学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	E1 科目以外から 16 単位（うち 2 単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。）修得すること。これに加えて「外国文献研究（全・英）-E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上 42 単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上 40 単位まで修得すること。（うち 2 単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。）これに加えて、E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員 DE ZOYSA, Menaka）2 単位を修得してもよい。
外国語科目群	16 単位以上 24 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 16 単位まで、計 16 単位以上 24 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報科学科目群	2 単位以上 4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	平成 28 年度入学者： 4 単位まで、 平成 29 年度入学者： 2 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上 78 単位まで	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員 DE ZOYSA, Menaka）、及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	----------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目は、人文・社会科学科目群のみ 2 科目 4 単位までを卒業に必要な単位として認定します。（平成 28 年度入学者のみ該当）
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。ただし、外国人留学生については認めることがありますので、学科長に相談してください。
- (4) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(5) 外国語科目群について

ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので履修を推奨しません。

## 工 学 部 <工業化学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・ E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・ 「外国文献研究 (全・英) -E1」 から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から必修科目計 8 単位を含め、計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、平成 28 年度入学者は 4 単位まで、平成 29 年度入学者は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	71 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むことを推奨する。
------	-------------------------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、1 科目 2 単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

## 工 学 部 <情報学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。  平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。  「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。  日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
情報学科科目群	2 単位以上 8 単位まで		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群		28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
自然科学科目群		16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
外国語科目群			
合計		65 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について  
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を履修した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方履修した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。

## 農 学 部 <資源生物科学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 8 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで、少人数教育科目群を除く各科目群から自由に計 4 単位以上修得し、計 60 単位以上修得すること。ただし、卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

#### ① 自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学（熱力学）	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学（量子論）	2		

#### ② 情報学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

## 農学部 <応用生命科学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 16 単位以上修得すること。「統合科学」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	<p>E 科目は合計 8 単位以上修得すること。</p> <p>以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。</p> <p>(1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2) 2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。</p>
------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

#### ① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
線形代数学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
確率論基礎	2	基礎化学実験	2
		細胞と分子の基礎生物学	2

#### ② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

## 農 学 部 <地域環境工学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。なお、E 科目 8 単位のうち 4 単位は E2、E3 科目から修得することを推奨する。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

#### ① 自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
線形代数学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学実験	2
数理統計	2		

#### ② 情報学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

## 農学部 <食料・環境経済学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 20 単位以上修得すること。下表①で推薦する科目を極力履修すること。
自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「統計」分野及び「生物学」分野から計 12 単位以上修得すること。下表②で推薦する科目を極力履修すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	下表③で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。下表④で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 (1) 自然科学科目群の「数学」、「統計」及び「生物学」以外の分野の E 科目、(2) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

#### ① 人文・社会科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学Ⅰ	2	Contemporary Economics I -E2	2
社会学Ⅱ	2	Contemporary Economics II -E2	2
統計リテラシー	2	Food and Globalization I -E2	2
		Food and Globalization II -E2	2

#### ② 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
微分積分学（講義・演義）B	3	数理統計	2
線形代数学（講義・演義）A	3	数学探訪Ⅰ	2
線形代数学（講義・演義）B	3	数学探訪Ⅲ	2

#### ③ 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

#### ④ 統合科学科目群

科目名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	2



## 農 学 部 <森林科学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		下表③で推薦する科目を極力履修し、計 4 単位以上修得すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	--

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

#### ① 自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎物理化学要論	2
微分積分学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 II※	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎化学実験	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学実験	2	水と緑と土の科学	2

※平成 28 年度入学者のみ学科が推薦する科目として認める。

#### ② 情報学科目群

科 目 名	単位数
情報基礎 [農学部]	2

#### ③ 統合科学科目群

科 目 名	単位数
環境学	2

## 農 学 部 <食品生物科学科>

### 1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 16 単位以上修得すること。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 (1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」分野以外の E 科目、(2) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	---

### 2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 3. 指示事項

学科が推薦する科目

自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A ※2	2
線形代数学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎物理化学要論 ※1	2
基礎物理化学（熱力学）※1	2	基礎有機化学 I	2
基礎物理化学（量子論）※1	2		

※1 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を履修した場合、後に「基礎物理化学要論」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

「基礎物理化学要論」を履修した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を履修した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められます（「基礎物理化学要論」は増加単位になります）。

※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。